

# ウェルネスツーリズムによる持続可能な地域活性化と 地球規模の幸福追求 —大阪府八尾市を事例として—

## *Sustainable regional revitalization and the pursuit of global well-being through wellness tourism —Yao City, Osaka Prefecture as an example—*

大阪経済法科大学 経済学研究科経営学専攻 付 娜  
Osaka University of Economics and Law FU Na

**Keywords** 地球規模の幸福追求 (*global well-being*) ウェルネスツーリズム (*wellness tourism*) 地域活性化 (*regional revitalization*)

### 1.はじめに

21 世紀の観光産業は、物質的消費を中心としたマストツーリズムから、健康・環境・文化体験を重視する持続可能な観光形態へと移行しつつある。その中で「ウェルネスツーリズム」は、旅行者の心身の健康回復や生活の質向上を目的とし、地域資源を活用することで経済・社会・環境に波及効果をもたらす。

本研究では、大阪府八尾市を事例に、ウェルネスツーリズムによる地域活性化の可能性と、それが国境を越えて幸福を拡大させる構造を明らかにする。

### 2.ウェルネスツーリズムの定義と意義

ウェルネスツーリズムは「心身、感情、職業、知性、精神など人間の生活に関わるあらゆる領域を向上ないしバランスさせる旅行行動で、旅行者の主な動機は、運動、健康的な食事、リラクゼーション（例：マッサージ、温泉、サウナ）、至れり尽くせりのヒーリングトリートメント（例：アロマセラピー）などの予防的で前向きなライフスタイルを向上させるアクティビティへの参加」であるとされる<sup>(1)</sup>。

日本のウェルネスツーリズムでは、長寿世界一

という統計的事実と、自然、社会環境因子、食文化、精神文化、日本的ライフスタイルと情緒をひもづけ、世界で優位な競争力を発揮できる”ジャパンプランドウェルネス”を確立することが期待される<sup>(2)</sup>。

### 3.八尾市の現状と課題

八尾市の現状を分析し、その課題について述べる。

#### 3.1 経済の課題

八尾市は大阪府の中河内地域に位置し、伝統的に河内木綿や歯ブラシ製造といった地場産業が栄えてきた。しかし近年、産業の空洞化と人口減少により、地域経済は縮小傾向にある<sup>(3)</sup>。観光資源は点在しているが、総合的な観光戦略は未成熟である。

#### 3.2 社会の課題

高齢化率が上昇し（2023 年時点で約 29%）、若年層の域外流出も続いている。地域イベントはあるものの、観光客と住民が交流する機会は限定的である<sup>(4)</sup>。

#### 3.3 環境の課題

都市化の影響で自然環境が限定的であり、環境配慮型観光の実践例は少ない。一方で、周辺自治体との連携により山地・河川・農地を活用できる

可能性はある<sup>5)</sup>。

### 3.4 個人の課題

都市部に近く利便性は高いが、住民の健康意識や運動習慣は十分ではない<sup>6)</sup>。観光を通じた健康促進の仕組みも整っていない。

## 4. ウェルネスツーリズムを活用した解決策

ウェルネスツーリズムを活用した解決策を、経済面、社会面、環境面、個人面から提案する。

### 4.1 経済面

経済面から次の4案を提案する。

- 河内木綿や地場産業体験を組み込んだ滞在型プランの開発（体験＋見学、サステナブルな価値を発見し、リサイクル意識を高める）
- 地域農産物を活用した健康食プログラムの提供（八尾市食文化一若ごぼうを使った創作料理と薬膳メニューを提供、ブドウ育成の体験）
- 周辺市町村と連携した広域ウェルネスルートの構築<sup>7)</sup>（八尾市の自然環境と温泉資源が少ないことから、周辺の東大阪市、藤井寺市などと連結することで短期滞在型観光を長期滞在型観光へ発展させる）
- 二次元文化の導入（二次元×観光ルート）→国際へ

### 4.2 社会面

社会面から次の3案を提案する。

- 住民参加型観光（例：家庭料理体験、伝統工芸教室）
- 世代間交流イベント（高齢者の知識・技能を活用）
- 観光ボランティア育成制度の創設

### 4.3 環境面

環境面から次の3案を提案する。

- 自転車や徒歩による観光ルートの整備
- 都市農業や市民農園体験を取り入れたプログラム
- 廃棄物削減と再利用を徹底した観光モデル

### 4.4 個人面

個人面から次の3案を提案する。

- 健康診断や運動指導<sup>8)</sup>を組み合わせた宿泊プラン
- 地元温浴施設・フィットネス施設との連携
- 精神的リフレッシュを目的としたアート・音楽療法体験

## 5. 地球規模の幸福追求への展開

八尾市での成功事例は、他地域へのモデルケースとなり得る。特に、伝統産業・都市近郊農業・文化体験を組み合わせたウェルネスツーリズムは、世界各地の中小都市でも応用可能である。このよ

うな地域横断的モデルは、健康・文化理解・環境意識の向上を国際的に促進し、地球規模での幸福追求に寄与する。また「健康・文化理解・環境意識の向上×二次元」のハイブリッド観光で独自の地域ブランドを形成し、地域活性化を図ることができる。

## 6. おわりに

本研究は、ウェルネスツーリズムがもたらす持続可能な地域活性化の可能性を、経済・社会・環境・個人の四つの側面から分析し、事例として大阪府八尾市を取り上げた。八尾市は伝統産業や歴史文化資源を有しつつも、人口減少や高齢化、地域経済の停滞といった課題に直面している。

八尾市におけるウェルネスツーリズムは、経済活性化、社会的つながりの強化、環境保全、個人の健康増進という多方面の課題解決に資する。

今後は、行政・事業者・住民の三者協働による計画策定と、広域連携の推進が不可欠である。二次元の導入で人口高齢化の緩和、人口復旧になり得る。地域発のウェルネスツーリズムが地球規模の幸福追求へとつながる可能性は高く、その実現には持続可能性と地域性を両立させた施策が求められる。

（注）

- (1) 関口 陽一「ウェルネスツーリズム ～心身と地域を元気にする旅行～」『日経研月報』2024年2-3月号
- (2) 荒川雅志「特別寄稿 世界的需要高まるウェルネスツーリズム」観光経済新聞 2023年5月5日
- (3) 八尾市統計年報, 2023
- (4) 和泉大介 (2022). 八尾市における観光地域づくりの実践. 阪南大学観光学部研究室報告.
- (5) 株式会社リオデューズ (2022). 八尾市における地域循環共生圏づくり事業. Rhode us ウェブサイト. <https://rhodeus.net/2022/01/17/>
- (6) 八尾市健康づくり計画, 2022
- (7) 新垣晋 (2024). リジェネラティブ再生デザインによるウェルネスツーリズム定義とモデル開発. 科学研究費助成事業 基盤研究(C).
- (8) 八尾市 (2023). 健康寿命推定アプリ「ウェルやお」. 八尾市公式ウェブサイト.